

つながりは、いつもここに



平成30年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年9月14日

上場会社名 株式会社鎌倉新書 上場取引所 東  
 コード番号 6184 URL http://www.kamakura-net.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相木 孝仁  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)須藤 諭史 (TEL)03(6262)3521  
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第2四半期の業績 (平成29年2月1日～平成29年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	808	26.1	194	21.7	160	2.9	109	10.1
29年1月期第2四半期	641	17.3	159	51.1	156	52.1	99	61.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	12.89	12.39
29年1月期第2四半期	12.40	11.50

(注) 当社は平成28年10月1日付にて1株を4株にする株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第2四半期	2,307	2,060	89.0
29年1月期	1,122	908	81.0

(参考) 自己資本 30年1月期第2四半期 2,054百万円 29年1月期 908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の業績予想 (平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	27.6	420	28.3	400	23.4	255	23.6	28.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1株当たり当期純利益は、平成29年7月20日に実施した公募増資538,000株及び平成29年7月26日に実施した第三者割当増資80,000株を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年1月期2Q	9,142,000株	29年1月期	8,426,400株
30年1月期2Q	244株	29年1月期	—株
30年1月期2Q	8,495,027株	29年1月期2Q	8,023,236株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は平成28年10月1日付にて1株を4株にする株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財務状態に関する説明	2
(3) 業務予測などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への警戒から、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するライフエンディング市場におきましては、潜在的需要は人口動態を背景に年々増加すると推測され、「終活」の浸透が進み、ライフエンディングに対する社会的関心は日増しに高まりを見せております。しかし、社会の変化に伴いユーザーの価値観やニーズも変化しつつあり、各サービス形態の変化が徐々に顕在化しております。仏壇仏具やお墓等におきましては、ユーザーの節約志向に加え、生活スタイルや価値観の多様化による購入商品の小型化・低価格化が継続しております。

このような事業環境の中、当社はライフエンディング周辺事業へ事業開拓、知名度・コーポレートブランドの価値を高めるために広報・PR活動を強化するなど、数多くの施策を行なって参りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、808,347千円（前年同四半期比26.1%増）、営業利益は194,394千円（前年同四半期比21.7%増）、経常利益は160,853千円（前年同四半期比2.9%増）、四半期純利益は109,514千円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

なお、当社はライフエンディングサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は2,307,839千円（前事業年度末比1,185,735千円増）となりました。主要因は、現金及び預金の増加(同1,121,331千円増)、売掛金の増加(同59,675千円増)であります。

##### (流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は2,164,594千円（前事業年度末比1,180,377千円増）となりました。主要因は、現金及び預金の増加(同1,121,331千円増)、売掛金の増加(同59,675千円増)であります。

##### (固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は143,244千円（前事業年度末比5,357千円増）となりました。主要因は保険積立金の増加(同11,892千円増)、減価償却による資産の減少(同5,603千円減)であります。

##### (流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は229,028千円（前事業年度末比38,437千円増）となりました。主要因は、未払法人税等の減少(同29,920千円減)、未払金の増加(同51,453千円増)、未払消費税等の増加(同5,859千円増)であります。

##### (固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は18,359千円（前事業年度末比4,404千円減）となりました。主要因は、長期借入金の減少(同5,000千円減)であります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は2,060,451千円（前事業年度末比1,151,701千円増）となりました。主要因は、資本金の増加(同518,130千円)、資本準備金の増加(同518,130千円増)、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加(同109,514千円増)であります。

#### ②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期会計期間末に比べ1,276,039千円増加し、1,833,895千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は112,273千円（前年同四半期は43,198千円）となりました。主な収入要因は税引前四半期純利益160,853千円、株式公開費用32,692千円となった一方で、法人税等の支払77,197千円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果、使用した資金は14,342千円(前年同四半期は56,670千円)となりました。主な支出要因は、生命保険の積立による支出13,134千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は1,023,525千円(前年同四半期は△1,412千円)となりました。主な収入要因は株式の発行による収入1,036,260千円、主な支出要因は、株式公開費用による支出13,661千円、長期借入金の返済による支出5,000千円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月期の業績予想については、平成29年3月9日に公表しました予想から変更ありません。

なお上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	742,646	1,863,977
売掛金	220,491	280,166
製品	7,139	5,407
仕掛品	1,356	1,706
貯蔵品	211	348
前払費用	2,357	7,064
繰延税金資産	10,844	6,699
その他	957	955
貸倒引当金	△1,787	△1,732
流動資産合計	984,216	2,164,594
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	45,911	44,911
工具、器具及び備品(純額)	24,841	22,411
有形固定資産合計	70,752	67,322
無形固定資産		
ソフトウェア	12,385	10,212
その他	202	202
無形固定資産合計	12,588	10,415
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,162	4,244
敷金及び保証金	36,686	35,673
保険積立金	12,156	24,049
その他	1,540	1,540
投資その他の資産合計	54,546	65,507
固定資産合計	137,887	143,244
資産合計	1,122,104	2,307,839

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,976	2,016
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払金	52,331	103,784
未払費用	676	29
未払法人税等	77,007	47,086
未払消費税等	17,400	23,259
前受金	7,025	11,172
預り金	5,549	9,422
賞与引当金	17,623	21,895
その他	-	361
流動負債合計	190,590	229,028
固定負債		
長期借入金	15,000	10,000
退職給付引当金	7,763	8,359
固定負債合計	22,763	18,359
負債合計	213,353	247,387
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	253,324	771,454
資本剰余金		
資本準備金	213,324	731,454
資本剰余金合計	213,324	731,454
利益剰余金		
その他利益剰余金	442,102	551,616
繰越利益剰余金	442,102	551,616
利益剰余金合計	442,102	551,616
自己株式	-	△123
株主資本合計	908,750	2,054,401
新株予約権	-	6,049
純資産合計	908,750	2,060,451
負債純資産合計	1,122,104	2,307,839

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
売上高	641,153	808,347
売上原価	250,452	301,740
売上総利益	390,700	506,607
販売費及び一般管理費	230,966	312,212
営業利益	159,734	194,394
営業外収益		
受取利息	41	28
保険事務手数料	-	358
助成金収入	-	300
その他	242	160
営業外収益合計	284	848
営業外費用		
支払利息	240	203
為替差損	3,304	725
株式公開費用	-	32,692
保険解約損	-	768
その他	223	-
営業外費用合計	3,768	34,388
経常利益	156,250	160,853
税引前四半期純利益	156,250	160,853
法人税、住民税及び事業税	50,483	47,276
法人税等調整額	6,282	4,062
法人税等合計	56,765	51,339
四半期純利益	99,484	109,514

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	156,250	160,853
減価償却費	2,537	7,072
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△306	△55
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,355	4,272
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△413	596
受取利息及び受取配当金	△41	△28
支払利息	240	203
株式公開費用	-	32,692
為替差損益(△は益)	3,304	725
売上債権の増減額(△は増加)	△18,455	△59,675
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,782	△959
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184	1,245
未払金の増減額(△は減少)	177	29,179
その他	△11,449	13,533
小計	129,233	189,654
利息及び配当金の受取額	41	28
利息の支払額	△247	△211
法人税等の支払額	△85,829	△77,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,198	112,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△600
有形固定資産の取得による支出	△1,063	△1,469
無形固定資産の取得による支出	△4,201	-
敷金及び保証金の差入による支出	△37,700	-
保険積立金の積立による支出	△14,809	△13,134
保険積立金の解約による収入	1,704	861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,670	△14,342
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	3,588	1,036,260
短期借入金の増減額(△は減少)	-	-
長期借入金の返済による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	-	△123
新株予約権の発行による収入	-	6,049
株式公開費用による支出	-	△13,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,412	1,023,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,304	△725
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,189	1,120,731
現金及び現金同等物の期首残高	576,045	713,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	557,855	1,833,895

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月21日付で東京証券取引所市場第一部に市場変更し、平成29年7月20日を払込期日とする公募増資による払込を受け、新株式538,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ442,774千円増加しております。また、平成29年7月26日を払込期日とする第三者割当増資による払込を受け、新株式80,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ65,840千円増加しております。

加えて、新株予約権の行使により、新株式97,600株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,516千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において資本金が771,454千円、資本剰余金が731,454千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、ライフエンディングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。